

# CTの造影剤使用に関する説明

今回実施する造影剤を用いた検査は、より正確な診断をし、今後の治療に役立てることが出来ます。また、疾患によっては造影剤を使用しないと見つからない病気もあります。

一般には安全な薬ですがまれに副作用を生じることがありますので、担当医から説明を聞き、患者さんの自由意志による同意を得た上で造影検査を行いたいと考えております。

担当医の説明をお聞きいただき、疑問点は質問して納得され、造影検査の実施に同意される場合は同意書に御署名ください。

## 1. 造影剤とは

CT用の造影剤は、ヨード製剤です。ヨード過敏症の方は申し出てください。

造影剤を静脈から注射します。

## 2. 造影剤を使用する前に

以下の方は検査前に担当医とご相談してください。

- ・ 以前に造影剤検査で具合が悪くなったことがある
- ・ 気管支喘息やアレルギー体質と診断されたことがある
- ・ 腎臓の働きが悪い、あるいは腎臓の病気がある
- ・ 甲状腺の病気がある
- ・ 妊娠中、あるいは妊娠の可能性がある
- ・ 授乳中である

## 3. 造影剤の副作用

- ・ 100人に1人以下の割合で、吐き気・嘔吐・皮膚症状(かゆみや蕁麻疹など)・くしゃみ・めまいなど、軽い症状が出ますが一過性で治療の必要がありません。
- ・ 1万人に5人以下の割合で、血圧低下・呼吸困難・ショックなどの重い副作用が起こることがあります。
- ・ 極めてまれですが死に至る報告があります。
- ・ 以前、造影剤を使った際に副作用が出ていなくても、今回の検査で副作用が出ないとは限りません。
- ・ 造影剤の注入中は、からだが熱くなってきますが時間が経てば落ち着きます。
- ・ その他に、痛みやかゆみ・気分が悪くなったら、すぐに申し出てください。

## 4. 緊急時の対応

- ・ 検査中は放射線科医師・放射線技師・看護師が常におりますので、万が一の場合には迅速に対応し、担当医と連携し最善の対処をいたします。
- ・ 検査終了後、数時間から数日後に上記副反応症状や異常が出る場合があります。症状が出たら病院にご連絡ください。

## 5. 造影検査を受けたくなくなった場合

- ・ 検査前でししたらいつでも承諾を取り消せます。その場合、造影剤を用いない検査を受けることも出来ます。
- ・ 検査当日になって体調の変化などで造影検査を受けたくない場合は、放射線技師または看護師にお申し出ください。